

西区の歴史・文化・名所

トヨタ産業技術記念館 ①

豊田佐吉が1911年に自動織機の研究開発のために創設した試験工場の場所と建物を利用して建設されました。繊維機械と自動車を中心に、産業と技術の変遷を本物の機械の動態展示やオペレーターによる実演で紹介しています。



ノリタケの森 ②

洋食器メーカー「ノリタケ」が、本社内の工場跡地に開設しました。緑あふれる園内には陶磁器の製造工程や初期のノリタケ製品の見学、絵付け体験ができる施設のほか、食器やキッチン雑貨のショップ、レストランもあります。



名古屋の駄菓子

名古屋城築城の石運び人や、枇杷島市場に集まる八百屋、美濃路の休憩所の旅人や人足衆を相手に販売されたと言われる駄菓子。その歴史は江戸時代までさかのぼり、関東大震災を機に、名古屋の駄菓子は生産・流通機能が拡大し全国で有名になりました。



名古屋友禅

尾張藩主徳川宗春の頃（1730～1739年）に、京都、江戸などから友禅師が往来し、その技法が伝えられたことに始まります。名古屋地方の質素倹約を気風とする土地柄を映し、色数を控えた単彩濃淡調の落ち着いた色使いが特徴。



名古屋扇子

名古屋扇子は、宝暦年間（18世紀中頃）に京都から現在の西区幅下あたりに移住してきた井上勘造父子によって始められたとされています。名古屋は京都と並ぶ産地として知られ、白扇など実用的な男物を主体として発展してきました。



和風

日本の伝統的な絵画の手法を今に伝える名古屋の和風。原画づくりから型紙、刷り込み、組み立てなど、どれも熟練の技を駆使して作られています。最近では、昔ながらの絵模様に加えて、工夫を凝らしたデザインが特徴となっています。



屋根神

地域の守り神として町内や隣組などの小組織で祭祀を行います。もともと神様を祭る地所がなく屋根の上や軒下に祭ったことから「屋根神さま」と呼ばれるようになりました。名古屋市内の半数が西区にあります。



名古屋提灯

室町時代にさかのぼる提灯づくりは江戸時代には盆供養に提灯を使う風習が生まれ、盛んに作られるようになりました。和紙を通しての柔らかな光が欧米人にも好まれ、明治初期には貴重な輸出品として全国一の生産を誇りました。



革製品

古くから太鼓などが作られ、明治時代、馬具に使う革を用いて革靴の製造を始めたといわれています。戦後、製靴業が盛んになり、上質な本革の靴づくりの地として有名になりました。靴以外の革製品の製造も行われています。



名古屋古流風

江戸時代、尾張藩の武家の間で盛んに遊ばれていたという名古屋古流風。空高く揚げるのが自慢比べでもあったといわれています。代表的なせみ風やあぶ風は現在でも人気があり、小型で独特なうなり音を発します。



「も～やっこ」とは？

「みんなで仲良く分け合う」という意味の名古屋ことばです。この「も～やっこ」ということばに「いいことも、困ったことも、みんなで分かち合い、助け合って、西区をより暮らしやすく魅力的なまちにしていきたい」という思いを託し、区政運営のキーワードとしています。現在「も～やっこ」をキーワードに取り入れた西区オリジナルメッセージソング「西区も～やっこのうた」を西区のウェブサイトにて配信中、プロモーションビデオや振り付けもあります。ぜひご覧ください。（「も～やっこのうた」で検索してください）



西区のシンボルマーク（区章）



西区の花さくらそう



西区の木やなぎ

区のプロフィール

西区は明治41年（1908）4月、4区制により誕生。名古屋市中でも最も古い区の1つです。西区内を横断するように庄内川が流れており、その以北の山田地区（旧西春日井郡山田村）は、昭和30年（1955）10月に名古屋市と合併して西区に編入されました。名古屋市の北西部に位置し、面積は約17.9平方キロメートル。世帯数は74,842世帯、人口は150,529人です。人口は名古屋市内16区中8番目になります。（令和3年12月1日現在）



ようこそ！西区へ

四間道 ③

元禄の大火といわれる大火事により、多くの町家が焼失。そこで商家の延焼を防ぐために道幅を四間（約7m）に広げたことから、四間道と名付けられたとも言われています。名古屋市内並み保存地区、都市景観形成地区。



堀川・五条橋 ④

名古屋城築城とともに開削された堀川は物流を担う重要な交通手段でした。五条橋はその堀川に初めて架けられた橋で、元は清須を流れる五条川に架かっていましたが、「清須越」の際に橋の一部とともにその名も移されました。



美濃路 ⑤

美濃路は、江戸時代、東海道宮宿（熱田区）と中山道垂井宿（岐阜県垂井町）を結ぶ重要な街道として人々の往来が盛んでした。東海道は宮宿から桑名宿までが海路となり天候に左右されるため、美濃路のほうがよく利用されていたといわれています。



岩倉街道 ⑥

名古屋城下から岩倉へ至る「岩倉街道」が通じ、枇杷島の青物市の帰りに味噌・油などの生活用品を購入したことから、街道沿いに商家の立ち並ぶ町が形成されました。毎年秋に岩倉街道おてあ祭を開催。名古屋市内並み保存地区。



庄内緑地 ⑦

「水と緑と太陽」をテーマに庄内川の小田井遊水地を利用した野趣あふれる総合公園。広い敷地に芝生広場や各種スポーツ施設などを完備。またバラ園のバラの株数は市内最大級。無料のドッグランも備えています。



蛇池 ⑧

昔から「大蛇が住む」と噂され、若き日の織田信長は、池の水を全てくみ出すように命令、自らも池の中に入り大蛇を探したが見つからず諦めたというエピソードがあります。毎年4月に蛇池神社にて堰流しを開催。桜の名所。



※場所は中見開きの地図をご参照ください。

その他ガイドマップ

「西区の魅力まちあるきガイドマップ」
「ものづくり文化の道マップ」

西区の魅力まちあるきガイドマップ 検索
ものづくり文化の道マップ 検索



西区役所地域力推進室

名古屋市中区花の木二丁目18番1号
☎ 052-521-5311（代表） FAX 052-522-5069

令和4年1月発行